

2016年

219号

8月17日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

越谷支部第24回定期大会

民進党と無所属の会、自治みらい、
日本共産党市議代表挨拶

8月1日、中央市民会館の会議室に39名の組合員が集まり、第24回定期大会が開催されました。この大会に先立ち組合員の皆さんに大会開催のご案内の葉書(委任状)とともに議案書を配布し支部の一年間の活動状況を取りまとめるとともに今後の活動方針を掲げました。

大会は前半の司会を務めた山本副支部長の挨拶の後、この一年間に亡くなられた大島良江さんのご冥福を祈り黙祷。議長に13班の中田氏を選出し議事に入りしました。足立秀機資格審査委員からこの日出席できない方からの委任状169を含め、組合員の過半数の参加となり大会が成立したことの報告がありました。

吉田健治支部長挨拶の後、来賓として出席いただいた宇佐美埼玉県本部執行委員長、山田越労連議長、綿引民主市政の会代表、民進党と無所属の会の福田あき共産党市議団の宮川雅之市議の挨拶の後、高橋勉越谷市長からのメッセーの紹介があり、埼玉土建一般労働組合越谷支部、越谷社会保険推進協議会、医療生協さいたま越谷支部、越谷革新懇からもメッセーが寄せられました。

議事に入り五十嵐書記長から2015年度活動報告があり、誕生会を兼ねた支部行事、勉強会、シテイウオーク等各種の活動の参加状況等について説明がありました。次に会計担当の樋口副支部長から2015年度の会計監査報告があり、香田会長の監査より会計監査報告を受けました。休憩の後2016年度の活動方針と予算案の審議に入り、家所さんをはじめ活動報告の方々の発言をいただき、活動方針と予算案の可決されました。

次に伊藤(剛)選挙管理委員が新役員選

新支部長挨拶

第24回定期大会(8月1日)で選出されました役員は2面の通りです。執行委員として瀬川さん、森さんが新たに選出されました。役員一同一年間がんばります。宜しくお願いします。

さて高齢者の私たちにとって、生きること、生活することも大変な年になりそうです。安倍自公政権は戦争への道へ進もうとしています。さらに生活の源である年金が毎年切り下げられ、生きる権利さえ奪われています。

尚、昨年の大会で病気を理由に支部長退任を表明し、今回で退任する予定でした。しかし上記の通り情勢は大きく変化しています。こういう時だからこそ「もう一年ガンバレ」と役員、組合員の熱い要請に応じていきます。森山、山本副支部長、五十嵐書記長、伊藤(剛)、樋口、吉田(正)、和田書記次長、執行委員一同一丸となって奮闘することを決意します。宜しくお願いします。

2016年8月17日

全日本年金者組合越谷支部・支部長 吉田健治



発言する初代支部長の家所さん

越谷支部の創立に貢献し活躍されてきた5班の佐藤民蔵さんが高年齢のため引退されるのを代理の森山執行委員に渡され、後半の司会の森山副支部長の閉会の言葉と「団結ガンバレ」で無事大会を終了しました。尚、三大大会へのカンパが15,387円ありました。

点晴

障がい者殺傷事件
の背景

7月22日、大変ショッキングなニュースに遭遇した。相模原市の障がい者施設で45名が殺傷された事件である。私たちは報道で事件の概要に接しているが、最近の懸念される事態に陥っている。事件の原因は「犯人の措置入院解除が早かつた」など報道での論点隠しの動きが大きくなっている。さらに都知事選やオリンピック報道に隠れ、今回の殺人事件そのものがトーンダウンしているようにも思います。事件で問題になるべきは、「弱者排除の思想」であり「優生思想」ではないだろうか。

犯人の糾弾はもちろんであるが、今の日本にはこびる経済合理性や差別・格差を言わずして解決の糸口は見つけられない。政治家や作家等の「障がい者の排除」「老人の安楽死」「特定の国のヘイト発言」など過去の発言。社会には多角的に「自己責任論」「愛国教育」「差別思想」等の「弱者排除の風潮」が蔓延し、その延長線上で今回のような凶行が行われたのではないだろうか。

警察はネットでの犯罪予告は厳しく取り締まり、単なる爆破や暴行予告でも即座に犯人を逮捕し、広くニュースで取り上げられる。しかるに今回の場合は、詳細な予告にも関わらずに逮捕されず、措置入院は早期退院で済まされている。社会や政治や地域のどこかに「差別」を許す動きがあるのではないだろうか。

障がい者切り捨ての行政であれば、その行きつく先は、正しい老人や女性・若者の、病人、更に非正規労働者や生活保護者、外国人に非正規労働者や生活保護者、市場原理優先の「新自由主義」の考え方はそのものであり、優生思想のまん延は誰をも幸せにはしません。究極的に国家が求める国民とは「従順な労働者」と「徴兵される兵隊」であれば、今誰かがう。切り捨てられれば何が残るのか、よく考えようではないか。(伊藤 剛)

次回の宣伝活動 9月21日(水曜日) 12時～13時 南越谷駅南口